

データ番号	208
効用の種類	香りによる生理・心理的効用
見出し	香りで生体リズムが $1/f$ ゆらぎになる
出典	「アロマロジーとその応用」 資生堂研究所・菊池晶夫
内容	*吉田らによると、武者利光氏（工学者）の「快適な状態では生体リズムの多くが** $1/f$ 特性を有するゆらぎを持つ」という提起に着目し、香りによる脳波（ α 波）の周波数のゆらぎ測定をし、快い香りは不快な香りを嗅いだ時よりもゆらぎスペクトルの傾きが -1 （ $1/f$ 型特性）に近づくという結果を得、快適性への香りの応用の可能性が示唆された。
備考	*「第22回味と匂いのシンポジウム論文集 1989・吉田倫幸 他」より **「 $1/f$ ゆらぎ」は、ゆらぎの程度が周波数に反比例する分布になっている状態をいう。自然界では、そよ風、さざ波、心臓の鼓動などが「 $1/f$ 」だとされている